

平成18年8月25日

各 位

会社名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員経理担当 江崎 武
TEL. 042-643-6835

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月26日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成19年2月期中間業績予想の修正(平成18年2月21～平成18年8月20日)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	16,300	△ 320	△1,805
今回修正予想(B)	15,300	△ 560	△2,140
増減額(B-A)	△1,000	△ 240	△ 335
増減率(%)	△ 6.1	————	————
(ご参考) 前期実績(平成17年8月中間期)	17,547	△ 219	△ 318

(金額の単位:百万円)

2. 平成19年2月期通期業績予想の修正(平成18年2月21～平成19年2月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	35,300	150	△1,405
今回修正予想(B)	34,000	120	△1,480
増減額(B-A)	△1,300	△ 30	△ 75
増減率(%)	△ 3.7	△ 20.0	————
(ご参考) 前期実績(平成18年2月期)	37,578	20	120

(金額の単位:百万円)

3. 修正の理由

当中間期は、夏期商戦期の天候不順により夏物を中心とする商品の販売に影響を受け、売上高は前回公表予想を10億円ほど下回る状況であります。また、利益面におきましても、売上高未達による売上総利益の減少分に加え、特殊要因ではありますが、今後のマーチャンダイジング戦略の一環として、ファッション部門での非重点商品のクリアランスセールを実施したことによる売上総利益率の低下があり、経常利益、中間純利益とも前回予想を下回る見込みであります。なお、当中間期より適用の減損会計に伴う減損損失の計上につきましても見直しを行っております。

中間期の状況を踏まえ、下半期につきましても業績予測の見直しを行っております。売上高については若干のマイナスを見込みますが、利益面におきましては、ファッション部門のマーチャンダイジング見直しの効果が見込まれ、特に上半期に非重点商品の処分を強力に実施したことで早期に売上総利益率の改善が見込まれる状況であります。また、減損損失追加計上による減価償却費等の減少効果も含め、販売管理費の効率化による利益改善が見込まれます。

※本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上